

## 浅間山北麓ジオパークの活動について

浅間山ジオパーク推進協議会事務局

浅間山北麓ジオパークは、浅間山北麓（あさまやまほくろく）の群馬県嬭恋村の吾妻川右岸と長野原町全域で「浅間山とともに未来へ ～破壊と再生がつなぐ人々の営み～」をテーマに活動を行っています。浅間山は、火山フロントの屈曲点にあり、日本の中央構造線やフォッサマグナの中央火口列など、日本の地質を形づくる様々な線が交わる交差点にあります。現在、浅間山と呼ばれている前掛火山は約1万年前から活動をはじめ、たびたび大規模噴火を起こしてきました。この地域は、火山活動によって繰り返し破壊され、その都度住民の努力によって再生されてきたのです。この繰り返してきた破壊と再生を未来へつなぐことの大切さ、大変さを皆で共有していくことがジオパーク活動の要と考えています。

推進協議会では、ジオパーク登録を目指し平成25年度よりジオパークの勉強会からスタートしました。地域資源の掘り起こしや調査を行うことにより自分達の住む浅間山地域の素晴らしさ、浅間山からの恩恵を切に感じる事ができました。当地域はほぼ国立公園内にあり環境省の管理計画のもと、ジオパーク活動以前から地域資源を守る保護保全活動が各種団体のボランティア活動として、活発に行われてきました。ジオパーク認定に伴い、各所について具体的な保護保全計画を立て継続的に保護保全活動を行っていきける環境づくりを進めています。

現在、推進協議会には「調査・研修委員会」「企画・広報・観光委員会」「教育・防災委員会」と三つの専門委員会を設け、それぞれが住民主導で活動しています。また、推進協議会とは別組織として「ジオガイドの会」を設置し、ガイドテキストの制作やガイド養成講座などを行い、将来的には独立して運営していくことを目指しています。

認定以前より進めていた大学連携事業や地元中学校との地域学習などジオパークを教育に活かせる取り組みを広げることや、地域の防災活動・防災教育にも積極的に関わり、今後もより良いジオパークを目指して活動を行っていきます。



② 浅間山・鬼押し出し溶岩



④ 浅間山溶岩樹型 保護活動の様子



③ 地元中学校・地域学習



① 火山噴出物研修会の様子